

総監統率方針「強靱な東部方面隊の創造」  
総監要望事項「一隅を照らせ」

陸上自衛隊東部方面隊広報紙  
発行所：方面総監部広報室  
住所：東京都練馬区大泉学園町  
専用線：8-37-2446



令和8年4月25日 第1095号

方面	#3 方面隊訓練検閲	(1面)
1 師団	ダルマ・ガーディアン25	(2面)
12 旅団	旅団各地で練成・養成訓練	(3面)
1 施設団	最先任上級曹長交代行事	(4面)
東混団	フォトオブザイヤー入賞	(5面)

### #3 方面隊訓練検閲

# 2高群・会計隊が受閲

## 首都防衛任務に基づく部隊の行動

方面隊は2月16日から3月1日までの間、東部方面管内(各駐屯地、朝霞高射訓練場、柏高射訓練場、習志野演習場等)において、第2高射特科群及び東部方面会計隊に対する訓練検閲を実施した。(関連6面)

検閲官(幕僚副長(行政))は訓練検閲開始に当たり、受閲部隊に対して「作戦・戦闘部隊の要求に的確かつ即応する活動」「状況の変化に応じた安全管理」の2点を要望した。

本訓練検閲は作戦遂行能力の向上を図ることを目的として、武力攻撃予測事態から武力攻撃事態の作戦推移における首都防衛任務に基づく部隊の行動について検閲し、教育訓練の成果を評価・判定するものである。

は駐屯地基盤を活用した実施した。各部隊は部隊長を核心会計支援業務をそれぞれ



調達物品の受領 (会計隊)

として、これまで練成してきた成果を遺憾なく発揮するとともに、敵情・地形・気象・各種状況等を克服し、任務を遂行して本検閲を完了した。

方面隊は本訓練検閲の成果を今後の教育訓練に反映させ、部隊の更なる精強化を図っていく。

## 神奈川自衛隊広報センター開設

### オープニングセレモニーを実施

自衛隊神奈川地方協力本部は3月19日、横須賀市の商業施設コースカベイサイドストアーズ5階に、神奈川県内における



テープカット

新たな広報拠点として神奈川自衛隊広報センターを開設し、オープニングセレモニーを実施した。同広報センターは、これまで横須賀地方総監部が運営していた海上自衛隊サテライトベースの機能を引き継ぎ、神奈川県内の各部隊・学校等が連



施設内覧

携して運営する広報拠点として整備されたものである。地域の方々をはじめ県民や、観光客が日常的に自衛隊に触れる環境を整え、自衛隊をより身近に感じていただくとともに、その活動や役割を広く発信していくことを目的としている。

当日は本部長挨拶とテープカットを行った後、施設内覧を実施した。会場には横須賀市長代理をはじめ、相談員連絡協議会会長、総監、横須賀地方総監、高等工科学校長、航空自衛隊第2高射隊長等が出席し、開設を祝ったほか、多くの来場者で賑わった。

## 衛星画像による情報収集を最大限活用

### 災害時等の連携に関する協定

総監部情報部は3月13日、衛星画像を取り扱う日本スペースイメージング株式会社との間で協定調印式を実施した。

は、地震災害が発生した日、衛星画像を取り扱う日本スペースイメージング株式会社との間で協定調印式を実施した。



協定書の調印



締結後に実施した記念撮影



着任の挨拶を述べる大場幕僚副長 (防衛)

### 大場陸将補 第8師団副師団長から 方面総監部幕僚副長(防衛)に着任

総監部は3月23日、朝霞駐屯地において、転入者紹介行事を行った。このたびの異動で、第8師団副師団長兼北熊本駐屯地司令から大場陸将補が幕僚副長(防衛)として着任した。

### 東部方面総監部幕僚副長(防衛)

おおば ともあき  
陸将補 大場 智覚

生年月日 昭和49年3月15日  
出身 宮城県  
最終学歴 防衛大学校 (第40期)

#### 主要経歴

平成30年	第22普通科連隊長兼多賀城駐屯地司令	(多賀城)
平成31年	第22即応機動連隊長兼多賀城駐屯地司令	(多賀城)
令和2年	陸幕人事教育部募集・援護課長	(市ヶ谷)
令和4年	教育訓練研究本部総合企画部総合企画課長	(目黒)
平成6年	第8師団副師団長兼北熊本駐屯地司令	(北熊本)



日印連携して空路潜入を実施

師団は2月28日、ホテルカデンツア東京（練馬区）において、令和7年度師団優秀隊員招待行事を実施した。（写真）

本行事では職務遂行、教育訓練等で特に活躍し、師団の隊務運営に著

### 隊員の活躍を支える家族に感謝の意 師団優秀隊員11人を表彰

しく貢献した隊員の功績を称え、ともに、隊員を支えてこられた家族に対して敬意と感謝の意を表すことを目的とし、師団長から優秀隊員とそのご家族に対し褒賞状の授与、ご家族への花束贈呈、

- 【第1普通科連隊】 2等陸曹 中山誠
- 【第32普通科連隊】 1等陸曹 堀登慶
- 【第34普通科連隊】 陸曹長 須藤学
- 【第1後方支援連隊】 准陸尉 菅野綾子



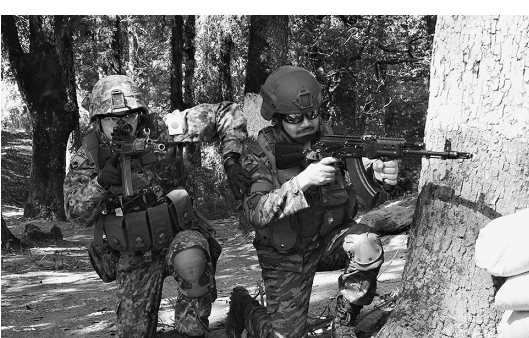
### 八丈島で復興の奏で フリージアまつりで派遣演奏



師団は3月20日、八丈町多目的ホールにおいて、



戦闘予行による情報共有



日印の連携した戦闘行動

各種行動の能力向上を目指し、真摯に演練に取り組むとともに、かかる分野において優れた能力を有するインド陸軍との関係強化を図り「自由で開かれたインド太平洋」の実現に寄与していく。



統裁官は講評において「今後も師団唯一の音楽隊であるという誇りを堅持するとともに、さらに練成を重ね、高い演奏技術や豊かな表現力に磨きをかけ、聴衆を魅了する音楽隊として成長することを期待する」と述べ演奏検閲を終了した。

# DG25

## 第1師団

### インド国内で実戦に即した訓練 対テロ分野に係る作戦遂行能力・戦術技量の向上

師団は2月22日から3月11日までの間、インドのチャウパティア演習場（インドウッタラーカンド州）において、令和7年度印陸軍との実動訓練「ダルマ・カーティアン25」（以下「DG25」）を実施して、対テロ分野に係る作戦遂行能力・戦術技量の向上を図るとともに、陸自と印陸軍との相互理解・信頼関係の促進を図った。併せて日印二国間の協力関係の強化をSNS等により情報発信して、自由で開かれたインド太平洋の維持・強化に寄与した。

総合訓練に必要な「計画した実弾射撃」「実弾を策定」対ドローン射撃（ドローンジャマー等を活用）「ジャンクル射撃」を日印訓練部隊が共同で演練した。

3月6日から7日の間、

ドローン運用が想定される環境下でドローンによる情報収集、対ドローン戦闘が行われた。

6日に日印共同中隊指揮所を運営し、共同作戦計画の策定、命令下達及び戦闘指導を実施した。

翌7日には策定した共同作戦計画に基づき、偵察・巡察・襲撃部隊・包囲捜索部隊・検問部隊・室内突入部隊及び民事作戦部隊を運用し、一連の行動について演練した。

当初テロリストによる

に、市街地における増強普通科中隊の対テロ分野に係る戦術力の組織化を通じ日印相互理解の促進を図ることができた。

訓練に参加した師団隊員からは「対テロ分野で優れた作戦遂行能力を有するインド陸軍から専門的な技術を学ぶことができた」「対テロ分野の練度向上を図る訓練だった。この経験から得られた識能を部隊に普及し部隊の精進に努めたい」などの声

が聞かれ、本訓練の目的を相互に達成したことを確認した。

師団は対テロ分野に係る各種行動の能力向上を目指し、真摯に演練に取り組むとともに、かかる分野において優れた能力を有するインド陸軍との関係強化を図り「自由で開かれたインド太平洋」の実現に寄与していく。

師団は3月5日、練馬文化センター大ホールにおいて、第50回定期演奏会を開催し、本演奏会

の場を活用し、本演奏会の企画、準備段階から本番までの一連の行動を

検する第3次師団訓練検閲を第1音楽隊に対し実

を目的に実施された。

### 誇りと使命感を胸に渾身の演奏 「練磨」をテーマに伝統の響きを奏でる

本訓練検閲は1音に対して教育訓練の成果を評価するとともに、その進歩向上を促すため「一般吹奏」を主要検閲課題として、定期演奏会

の場において、定期演奏会におけるテーマ・曲目構成及び演奏技術を検査することを目的に実施された。

今年で50回目を迎える定期演奏会であり、かつ訓練検閲となる本演奏会では、そのテーマを「練磨」とし、隊の演奏能力を最大限に発揮し得る曲目構成で臨んだ。演奏会は2部構成で行われ、第一部では1音の50年間の歴史を表現した過去委嘱作品4曲と、定期演奏会50回を記念して作曲された「ゴルドン・ジュベリ」を演奏し、歴史と伝統を重ねてきた感謝の気持ちを聴衆に届けた。

第二部では高難易度の曲と抒情歌を織り交ぜ聴衆を飽きさせることなく、演奏会のクライマックスへと導く3曲が演奏され、音楽科職種部隊として磨き抜いた渾身の響きを聴衆へ伝えられた。

1音の圧倒的な響きと調和の音色に、客席の聴衆者からは惜しみない感動の拍手が起り、アンコールが沸き上がった。アンコール曲には風「ふるさと」と「陸軍分列行進曲」が演奏され、感動の熱が冷め止まぬうちに閉幕した。

# 第12旅団

## 旅団各地で練成・養成訓練 空中機動・スキー・格闘の技能向上

■空中機動指導官  
旅団は1月9日から2月27日までの間、相馬原駐屯地、相馬原飛行場及び相馬原演習場において、令和7年度空中機動指導官養成訓練を実施し、第2普通科連隊が担任した。

■スキー指導官  
旅団は1月25日から2月9日までの間、関山演習場及び新潟県妙高市のスキー場において2普連



エキストラクションロープ懸吊



実機におけるリペリング卸下



教官からの指導



重量物を背負っての行進・宿営訓練



スキー徽章授与式

が担任部隊となり令和7年度東部方面隊スキー指導官養成集合訓練を実施した。本訓練は積雪寒冷地における部隊作戦遂行能力の向上を目的として実施し、各部隊から選抜された隊員が参加した。

おける作戦・戦闘の基本から応用までを体系的に教育するとともに、不整地の山岳地帯におけるスキー機動など厳しい自然

環境の下、専門的かつ実戦的な練成を積み重ねた。特に実戦を想定した内容に重点を置き、隊員たちは深雪や急斜面といった過酷な条件下においても、確実な滑走と部隊行動を両立させる技術を磨いた。また指導官として必要な指導法についても練成し、斜面及び平地での滑走技術の指導要領をはじめ、天候悪化の際の安全管理に関するこ

■格闘指導官  
旅団は1月19日から3月6日までの間、相馬原駐屯地において、第12偵察戦闘大隊が担任部隊となり令和7年度旅団部隊格闘指導官養成訓練を実施した。

訓練開始にあたり、担任官は「自主積極」「安全管理の徹底」の2点を訓

練参加者に要望した。本訓練は旅団内の各部隊から24人の隊員が参加し、格闘の心構えや法令教育をはじめ、安全管理を徹底しつつ基本動作である受け身、投げ技、応用技術に至るまで段階的な訓練を実施した。更に、指導法や戦術格闘などを

旅団は引き続き空中機動、スキー、格闘をはじめとした各種戦闘能力の向上を図っていく。



格闘技術訓練



野外での戦術格闘訓練

また第12ヘリコプター隊のCH-47をはじめとした実機を用いることにより、リペリングによる迅速な降下、ドアガンによる警戒、ヘリボンによる部隊投入など、より実戦的な練成を行った。

参加した隊員は本訓練を通じて、空中機動指導官としての知識技能を磨いた。

今後は各部隊における空中機動作戦を完遂に導く中核として部隊を支える存在となり、作戦遂行能力の向上に寄与することが期待される。

また第12ヘリコプター隊のCH-47をはじめとした実機を用いることにより、リペリングによる迅速な降下、ドアガンによる警戒、ヘリボンによる部隊投入など、より実戦的な練成を行った。

参加した隊員は本訓練を通じて、空中機動指導官としての知識技能を磨いた。

今後は各部隊における空中機動作戦を完遂に導く中核として部隊を支える存在となり、作戦遂行能力の向上に寄与することが期待される。

み、信越地区という豪雪寒冷地を担任区域に擁する旅団の作戦能力のさらなる向上を目指す。

な指導能力、判断能力の向上を図った。

隊員は互いに切磋琢磨しながら厳しい訓練を修了し、今後は各部隊の中核として、部隊の格闘技術の向上に努める。

旅団は引き続き空中機動、スキー、格闘をはじめとした各種戦闘能力の向上を図っていく。



機外搭載要領の練成

また第12ヘリコプター隊のCH-47をはじめとした実機を用いることにより、リペリングによる迅速な降下、ドアガンによる警戒、ヘリボンによる部隊投入など、より実戦的な練成を行った。

参加した隊員は本訓練を通じて、空中機動指導官としての知識技能を磨いた。

今後は各部隊における空中機動作戦を完遂に導く中核として部隊を支える存在となり、作戦遂行能力の向上に寄与することが期待される。



機内で説明を受ける参加者



医療器材の搭載訓練

参加者は訓練を通じて、関係各機関との協力態勢の重要性を再認識し、旅団は広域医療搬送能力の向上を図り、今後も災害対応能力のさらなる強化に努めていく。

## DMAATと連携強化 広域医療搬送実地訓練を支援

旅団は3月12日、相馬原飛行場においてDMAAT（国立健康危機管理研究機構が運営する災害派遣医療チーム）事務局が主催する広域医療搬送実地訓練を支援し、防災関係機関との連携強化及び災害派遣対処能力の向上を図った。

本支援は災害が生じた場合の航空機を使用した医療搬送訓練として同事務局が実施し、第12ヘリコプター隊第2飛行隊

がCH-47で支援した。DMAAT隊員は当初格納庫内においてヘリ隊からの安全教育の説明を受け、患者及び医療器材の搭載・卸訓練を実施し、最後にエプロン上においてCH-47のエンジンを開始した状態で、整備員の助言・指導のもと機内における訓練を行った。

参加者は訓練を通じて、関係各機関との協力態勢の重要性を再認識し、旅団は広域医療搬送能力の向上を図り、今後も災害対応能力のさらなる強化に努めていく。

## 第8代旅団最前任に中島准尉 最前任上級曹長着任式

旅団は3月12日、相馬原駐屯地体育館において旅団最前任上級曹長離着任式を実施し、第8代旅団最前任に旅団司令部付隊の中島寿（なかしまひさし）准尉が着任した。

中島准尉は中央即応連隊（宇都宮駐屯地所在時）において最前任上級曹長の任を経たのち、旅団司令部での勤務を経験した。

着任にあたり中島准尉は、現在の日本を取り巻く環境や世界情勢を取り上げ、現場における上官の存在意義と責務の重大さ、寄せられる期待に触れ、重点事項に「自律・協働」を掲げた。

自らを磨き律する行動は任務遂行の土台であるとして、個人では限界ある目標達成のためにはそれぞれが協働して事を成し遂げることが大切だとし、現場の力を培い唯一無二の第12旅団を創り上げようと隊員に呼びかけた。

離任した伊沢芳明前旅団最前任上級曹長は、同日付をもって高射学校（下志津）に転じた。



柳旅団長（左）から最前任上級曹長識別章を授与される中島准尉（右）

自らを磨き律する行動は任務遂行の土台であるとして、個人では限界ある目標達成のためにはそれぞれが協働して事を成し遂げることが大切だとし、現場の力を培い唯一無二の第12旅団を創り上げようと隊員に呼びかけた。

離任した伊沢芳明前旅団最前任上級曹長は、同日付をもって高射学校（下志津）に転じた。

第1施設団

# 第7代最先任が着任 准曹士に決意表明

施設団は3月12日、古河駐屯地において最先任上級曹長交代行事を実施し、第7代第1施設団兼准曹長に第4施設群最先任上級曹長から海藤拓准尉が着任した。

交代行事では第1施設団長より上・下番最先任上級曹長の紹介を実施した後、団最先任上級曹長の証である識別章の引き継ぎが行われた。

下番した第6代最先任上級曹長の山田准尉は離任の挨拶として「2年間、最先任という立場で皆さんと接し、多くのことを学ばせていただきました。皆の努力、仲間を思ふ気持ち、任務に向き合う姿勢に何度も心を動かされた。互いを信じ支え合ってきた。同じ方向を向いたとき部隊は強くなります。絆を大切にこれからも部隊を育てていってくださ。海藤准尉を核として、国家防衛の礎としてさらに充実発展することを祈念します。ありがとうございました。（要約）」と



団長による識別章の引き継ぎ



着任した海藤准尉

感謝の言葉を述べた。上番した第7代最先任上級曹長の海藤准尉は決意表明として「准曹士共の合言葉『戦士たれ』を掲げます。准曹士は部隊の中核であり、部隊の強さは准曹士一人一人の姿勢と力によって決まります。困難を乗り越える力は、積み重ねた反復訓練により生まれ、任務達成に必要な各種能力を磨き、自ら判断、行動できる隊員を育成してまいります。准曹士は個々ではなく、つながった輪であるべきと考え、その輪が揺るがなければ、部隊は力を発揮することができま。そして最先任とは、輪の中心にある存在と考。私は現場に学びながら、その中心から想いを響かせ、准曹士全体に伝わるような関係を皆さんと作っていきたく思います。最先任として現場とともに、真に戦える准曹士集団となるよう全力を注ぎます。『戦士たれ』を合言葉にその努力を積み重ねていきたいと思います。（要約）」と力強く述べた。



クレーンによる障害物通過



油圧ショベルによる障害物越しの掘削



炊事をする隊員

## 部隊対抗競技会を開催 部隊の威信を懸けた闘い

第307施設隊は3月7日、宇都宮駐屯地において、中央即応連隊施設中隊との施設科部隊対抗競技会を開催した。

本競技会は、それぞれの部隊から選抜された隊員により、施設機械等操縦及び野外炊事の2種目においてその能力を競う内容となった。

施設機械等操縦競技は、装輪操縦及び施設機械操作を実施し、ドラム缶をバトンとしたリレーでタイムを競い合った。

競技は2か所の会場で開催され、第1会場では、トレーラによる前進・後退の軌跡の通過、大型

く、つながった輪であるべきと考え、その輪が揺るがなければ、部隊は力を発揮することができま。そして最先任とは、輪の中心にある存在と考。私は現場に学びながら、その中心から想いを響かせ、准曹士全体に伝わるような関係を皆さんと作っていきたく思います。最先任として現場とともに、真に戦える准曹士集団となるよう全力を注ぎます。『戦士たれ』を合言葉にその努力を積み重ねていきたいと思います。（要約）」と力強く述べた。

施設団は団最先任上級曹長を核とし、部隊の原動力である准曹士の育成に励んでいく。

ダンブの軌跡通過及び大型ダンブへのタイヤチェーンの装着が実施された。特に困難を極めたトレーラの前進・後退において、一度の不安な行動もなくゴールを決めた場面では、応援席から大きな歓声が上がるとともに、ガッツポーズをする操縦手の姿も見られた。

第2会場では、資材運搬車による悪路走行及び軌跡の通過、障害物により視認不能なドラム缶への、油圧ショベルによる土砂の投入及びクレーン

同日、古河駐屯地として他駐屯地へ旅立つ新隊員の見送りを実施し、見送りの最後には、古河駐屯地に残る新隊員から旅立つ新隊員に対し、激励や感謝の言葉が送られ、本教育で培われた絆の強さを感じられた。

新隊員は担任官である第101施設器材隊長の要望事項「情熱と主体性をもって学べ」「同期の絆を大切に」の下、一人一人が情熱と主体性をもって教育に臨み、同期との絆を深めたかけがえのない教育となった。

施設団は今後も新隊員の育成に力を注いでいく。

操作によるドラム缶を吊り上げた状態での障害物回避が実施された。強風が吹き荒れる中で、クレーン操作となったが、揺れるドラム缶をものともせず、正確な動作で障害物エリアを通過した操縦手に、会場からは拍手が送られた。

また同時に実施された野外炊事においては、メ

インのチキンカレーを競ってメニューとし、隠し味として一品使うほかは、同じ食材でその他副食・汁物を作り、炊事能力を競う内容となった。中央即応連隊長や第1施設団副団長をはじめとした9人の審査員が盛り付け・味を審査し、隠し味についての考察がされた。

競技の結果は施設機械

操作等が中央即応連隊施設中隊、野外炊事においては第307施設隊に軍配が上がった。

本競技会は隊員の施設機械等操縦及び野外炊事能力を向上させることも、両部隊の団結の強化、士気の高揚及び交流を図る貴重な機会となり、今後の任務遂行に向けた大きな糧となった。

同日、古河駐屯地として他駐屯地へ旅立つ新隊員の見送りを実施し、見送りの最後には、古河駐屯地に残る新隊員から旅立つ新隊員に対し、激励や感謝の言葉が送られ、本教育で培われた絆の強さを感じられた。

新隊員は担任官である第101施設器材隊長の要望事項「情熱と主体性をもって学べ」「同期の絆を大切に」の下、一人一人が情熱と主体性をもって教育に臨み、同期との絆を深めたかけがえのない教育となった。

施設団は今後も新隊員の育成に力を注いでいく。

同日、古河駐屯地として他駐屯地へ旅立つ新隊員の見送りを実施し、見送りの最後には、古河駐屯地に残る新隊員から旅立つ新隊員に対し、激励や感謝の言葉が送られ、本教育で培われた絆の強さを感じられた。

新隊員は担任官である第101施設器材隊長の要望事項「情熱と主体性をもって学べ」「同期の絆を大切に」の下、一人一人が情熱と主体性をもって教育に臨み、同期との絆を深めたかけがえのない教育となった。

施設団は今後も新隊員の育成に力を注いでいく。

同日、古河駐屯地として他駐屯地へ旅立つ新隊員の見送りを実施し、見送りの最後には、古河駐屯地に残る新隊員から旅立つ新隊員に対し、激励や感謝の言葉が送られ、本教育で培われた絆の強さを感じられた。

新隊員は担任官である第101施設器材隊長の要望事項「情熱と主体性をもって学べ」「同期の絆を大切に」の下、一人一人が情熱と主体性をもって教育に臨み、同期との絆を深めたかけがえのない教育となった。

施設団は今後も新隊員の育成に力を注いでいく。

同日、古河駐屯地として他駐屯地へ旅立つ新隊員の見送りを実施し、見送りの最後には、古河駐屯地に残る新隊員から旅立つ新隊員に対し、激励や感謝の言葉が送られ、本教育で培われた絆の強さを感じられた。

新隊員は担任官である第101施設器材隊長の要望事項「情熱と主体性をもって学べ」「同期の絆を大切に」の下、一人一人が情熱と主体性をもって教育に臨み、同期との絆を深めたかけがえのない教育となった。

施設団は今後も新隊員の育成に力を注いでいく。

同日、古河駐屯地として他駐屯地へ旅立つ新隊員の見送りを実施し、見送りの最後には、古河駐屯地に残る新隊員から旅立つ新隊員に対し、激励や感謝の言葉が送られ、本教育で培われた絆の強さを感じられた。

新隊員は担任官である第101施設器材隊長の要望事項「情熱と主体性をもって学べ」「同期の絆を大切に」の下、一人一人が情熱と主体性をもって教育に臨み、同期との絆を深めたかけがえのない教育となった。

施設団は今後も新隊員の育成に力を注いでいく。

同日、古河駐屯地として他駐屯地へ旅立つ新隊員の見送りを実施し、見送りの最後には、古河駐屯地に残る新隊員から旅立つ新隊員に対し、激励や感謝の言葉が送られ、本教育で培われた絆の強さを感じられた。

新隊員は担任官である第101施設器材隊長の要望事項「情熱と主体性をもって学べ」「同期の絆を大切に」の下、一人一人が情熱と主体性をもって教育に臨み、同期との絆を深めたかけがえのない教育となった。

施設団は今後も新隊員の育成に力を注いでいく。

同日、古河駐屯地として他駐屯地へ旅立つ新隊員の見送りを実施し、見送りの最後には、古河駐屯地に残る新隊員から旅立つ新隊員に対し、激励や感謝の言葉が送られ、本教育で培われた絆の強さを感じられた。

新隊員は担任官である第101施設器材隊長の要望事項「情熱と主体性をもって学べ」「同期の絆を大切に」の下、一人一人が情熱と主体性をもって教育に臨み、同期との絆を深めたかけがえのない教育となった。

施設団は今後も新隊員の育成に力を注いでいく。

## 新隊員教育を修了 同期との絆を胸に新天地へ

施設団は令和7年12月17日から令和8年3月5日までの間、古河駐屯地において、新隊員後期教育「施設」を実施した。

約2カ月半の教育で、網を使用した連結、重材料の運搬、船を漕ぐ漕舟、爆破薬を使用した爆破などの施設基礎作業を主体に学び、全ての隊員が施設手等に必要となる基礎的知識及び技術を修得した。

3月5日には修了式が開催され、保護者らが見守る中、区隊旗の返納や優秀隊員の表彰（写真）などが執り行われた。

今後レッスンをしていきますが、こんなことを教えて欲しいとか、感想などありましたら、気軽に日本語でもいいのでお声がけください。

"Let's enjoy learning English together!"  
(一緒に楽しく英語を学びましょう！)

DLIFLC  
米国防省言語学校  
一緒に日本語を学んだ同期と

写真一番Ⓔ  
チャド少佐



友人家族と旅行時間が許すときは家族旅行を楽しんでいます。

写真一番Ⓔ  
チャド少佐



あづまをご覧の皆さん、はじめまして。チャド・ウィリアム少佐です。

### 【自己紹介】

名前 ウィリアムズ・チャド  
Name CHAD L. WILLIAMS  
階級 少佐  
Rank Major  
年齢 42歳  
Age  
出身 アメリカ合衆国アリゾナ州  
BirthPlace Arizona, USA  
部隊歴 2018年 韓国共同警備区域  
Unit History JSA, Korea  
2019年 中隊長、JMRC  
Hohenfels, Germany  
2022年 DLIFLC 言語学校  
Monterey, CA  
2025年 フィリピン軍指揮幕僚大学  
AFP, PHILIPPINES

昨年の夏から、在日米陸軍司令部と東部方面隊をつなぐ連絡将校として勤務しています。

"Nice to meet you!"  
(はじめまして！)

出身はアリゾナ州フェニックスです。現在は、妻と小学生の息子二人と渋谷に住んでいます。

趣味はオートバイと読書です。それから家族で国内旅行を楽しんでおり、これまでで一番良かったのは富士山近くの温泉旅館です。

ここで、すぐに使える表現を一つ紹介します。

"I'm happy to be here."  
(ここにいられてうれしいです)

共同訓練や会議など、初対面の場面でそのまま使える便利なフレーズです。皆さんも、共同訓練や国際任務などで英語を使う機会があると思います。短いフレーズでも「使ってみる」ことが上達への第一歩です。たとえば、こんな一言です。

"Let's give it a try."  
(やってみましょう！)

東部方面混成団

# 陸自最大の写真コンテスト フォトオブザイヤーに見事入賞



混成団は陸上幕僚監部が主催した「令和7年度フォトオブザイヤー」(以降POTY)に作品を応募した。POTYは毎年陸幕が全国から作品を募り、隊員が撮影した作品について部外有識者による審査を受け作品を評価するとともに、撮影技術の向上と士気の高揚を図り、自衛隊の広報に資するものである。



陸幕長と受賞した方面隊の隊員で記念撮影(写真右竹井3曹)

## 全国から続々と着隊 4月新隊員の教育始まる

春の陽気と桜の開花を待つ3月23日及び4月1日、日本全国から第26期一般陸曹候補生課程・第30期自衛官候補生課程の新隊員が第117教育大隊に着隊した。

地方協力本部や家族の送迎による他、自ら公共交通機関を乗り継いで武山駐屯地に到着した新隊員からは、これから始まる自衛官人生に対する夢

と希望にあふれた雰囲気を感じられた。

ある新隊員からは、初めて会う隊員同士ですがこれから同期となる人たちなのでなるべく皆と交流したいです」と語り、着隊に伴う受付を待つ間にも積極的な交流を図っていた。今年も明るく積極的な隊員が多く、充実した教育生活が始まりを告げた。



それぞれの地域から着隊した新入隊員

**東部方面混成団 公式Xはこちら!**  
陸上自衛隊【東部方面混成団】公式 @EACB\_takeyama  
たくさんのフォローお待ちしております!

東混団・31普通 インスタ始めました! フォロ-お待ちしております!

る。POTYでは春夏秋冬の4区分に分けた「カレンダー部門」と広報誌などで活用する「パンフレット部門」の全5部門で作品が募集され、それぞれ部門で陸上幕僚長賞が選出された陸上幕僚長賞に加え、優秀賞として一般審査によるSNS賞の他、審査員が選出する審査員賞の各賞が設けられた。

団本部竹井3曹の応募作品「実りの秋、笑顔満開!」が優秀賞SNS(秋)を受賞し、3月4日陸上幕僚監部にて陸上幕僚長より表彰を受けた。作品について竹井3曹は「厳しい訓練や、日々の自衛隊生活の中にも笑顔となる瞬間が自衛隊には溢れている。自衛隊での達成感や笑顔の瞬間等の青春を染しみに安心して入隊を志してほしいという気持ちで作品を応募した」と語った。



優秀賞 竹井3曹 「決意」



特選 真弓3曹 「新たな門出」

## 混成団ダブル受賞 方面写真コンテストに2名選出

混成団は方面総監部が実施した「令和7年度方面写真コンテスト」に作品を応募し、2作品が見事入賞した。

方面写真コンテストは、フォトオブザイヤー同様、部外審査員の審査により評価されるものであり、本年度のコンテストでは「東部方面隊で活躍する部隊・隊員の今、この瞬間」をテーマに募集を募った。

混成団からは見事2人が入賞し、団本部竹井3曹が作品「決意」で優秀賞を、真弓3曹が作品「新たな門出」で特選をそれぞれ受賞し、方面総監より表彰を受けた。

混成団からは見事2人から「陸上自衛隊の皆さんの昨今の災害派遣等の努力が広報のPRやメディアを通して多くの国民に認知されてきた事は大いに喜ばしい事です。ひいては未来の募集のための要素ともなる重要な任務が撮影を含めた広報の大事な仕事です。怪我などの無いよう留意されつつ今後も良い作品を撮っていただきたいと思います」との総評がなされた。

## 令和8年4月から「自衛官候補生」は「2等陸・海・空士(任期制自衛官)」に変更となります

項目	自衛官候補生	2等陸・海・空士(任期制自衛官)
入隊時の身分	特別職国家公務員 (自衛隊員であるが自衛官ではない)	特別職国家公務員 (自衛官)
入隊時の階級	階級なし(約3ヶ月の教育終了後、2等陸士、2等海士、2等空士に任官)	2等陸士、2等海士、2等空士
給与	高卒 【初任給】 ○ 自衛官候補生の間(入隊から約3ヶ月) 月額190,500円(自衛官候補生手当) その他扶養手当及び単身赴任手当あり。 ○ 入隊から約3か月後(2士任官後) 239,500円 【特例退職手当】 約77万円(陸自の場合:2年)	高卒 【初任給】 入隊当初から 239,500円 その他扶養手当及び単身赴任手当あり。 【特例退職手当】 約89万円(陸自の場合:2年)
	大卒 【初任給】 ○ 自衛官候補生の間(入隊から約3ヶ月) 月額190,500円(自衛官候補生手当) ○ 入隊から約3か月後(2士任官後) 257,200円 【特例退職手当】 約79万円(陸自の場合:2年)	大卒 【初任給】 入隊当初から257,200円 ※大卒者の初任給は、複数年かけて262,500円まで引き上げられる予定です。 【特例退職手当】 約90万円(陸自の場合:2年)
その他	要件を満たせば扶養手当及び単身赴任手当が支給されます。	左記のみならず自衛官同様の手当が支給されます。

入隊と同時に2等陸・海・空士に任命されます

総監部人事部募集課  
募集ニュース

# 後支援 部隊間の連携を強化

## 第4次後方支援隊訓練検閲を実施

東部方面後方支援隊は2月26日から3月2日まで、屯地、柏及び習志野訓練場並びに入間基地において、第2高射特科群が受



命令を下達する301高直支中隊長



タイヤ交換を行う坂本2曹

し訓練検閲を実施した。本訓練検閲は「首都防衛作戦における部隊の行動」を検閲課題とし、指揮官の基礎的行動・隊員の基礎的行動・兵站支援業務を主要検閲項目として評価判定するとともに、その進歩向上を促すことを目的に実施された。

第301高射直接支援中隊は被支援部隊の任務達成を第一義として、被支援部隊と密接に連携し、部隊のニーズに即応しつつ野整備支援を実施するとともに、適時適切に技術援助を行い、装備品の高可動率維持に努め、支援任務を完了した。特に故障発生時は、迅速に整備所要を見積り、被支援部隊の完成希望時期までに整備を完了させた。

本訓練検閲において隊長褒賞を受賞した坂本2曹は「隊員及び関係部署との協同・連携の重要性を改めて実感した。整備所要発生時には、使用者からの聞き取り、指揮官への報告、支援や部品の調整など一つでも欠けると任務達成ができなかった。引き続き、被支援部隊との協同・連携を大切に日々精進していきたい」と意気込みを述べた。

後支援隊は本訓練検閲において所望の成果を収めるとともに、引き続き練成訓練を積み重ね、更なる練度向上を図り、任務に邁進していく。

# 一致団結し使命完遂 空の精鋭として進化を続ける

## 航空隊

東部方面航空隊は2月9日から13日までの間、立川駐屯地において、令和7年度航空隊訓練検閲を実施した。本検閲には、



中央病院屋上に着陸するUH-1J



患者の搬送

東部方面ヘリコプター隊、東部方面管制気象隊、東部方面航空野整備隊の3個部隊が参加した。防衛警備任務における部隊

行動の練度を厳格に評価するのが狙いである。訓練開始にあたり、統裁官の航空隊長は「使命を必遂せよ」と訓示し、

隊員は張り詰めた空気の中、それぞれの任務へと向った。状況が開始されると、各隊は巡察やカメラ監視等による警戒態勢

をとり、駐屯地外に現れた不審者への即応、ドローンによる偵察、さらにはサイバー攻撃によるインフラ等への妨害など、現代戦を想定した多角的な脅威に直面した。隊員は被害を最小限に抑える処置を講じ、迅速な情報共有と上級部隊への報告を徹底した。

また各部隊は高度な専門性を発揮して各種任務に対応した。東部方面ヘリコプター隊はUH-1Jによる空中機動や航空偵察、患者後送などの戦闘支援を完了した。東部方面航空野整備隊はCH-47の整備促進要請に対応し、的確な隊力見積りを

にした整備継続により、可動機の確保に大きく寄与した。

東部方面管制気象隊は観測機器の一部が故障するという不測の事態においても、即座に観測要領を切り替え、航空運用に不可欠な気象データの提供を維持した。

各隊が緊密に連携し、日頃の練成成果を遺憾なく発揮した結果、一件の航空不安全も出さず、極めて高い成果を収めて検閲を終了した。本訓練で得た教訓を糧に、航空隊はこれからも技量を磨き、いかなる事態においても国民の負託に応える「空の精鋭」として進化を続ける。

## 特科連隊

# 新潟の地で連隊積雪地訓練

## いかなる環境にも対応する部隊の育成

方面特科連隊は2月22日から3月6日までの間、訓練期間を前・後段に区分し、新潟県関山演習場及び近傍スキー場に



白銀の大地を進む機動訓練

習場内における部隊機動を実施して、その練度を評価・判定した。

訓練に参加した隊員の中には、スキーが初めてという隊員も多く、雪上での歩行もままならない

隊員もいたが、スキー技術に関する訓練に熱心に取り組み、平地技術及び傾斜地技術を概ね習得した。スキー訓練の主要訓練項目である平地での移動技術及び傾斜地での移動技術について段階的に

演習場内における部隊機動を実施して、その練度を評価・判定した。

訓練に参加した隊員の中には、スキーが初めてという隊員も多く、雪上での歩行もままならない

隊員もいたが、スキー技術に関する訓練に熱心に取り組み、平地技術及び傾斜地技術を概ね習得した。スキー訓練の主要訓練項目である平地での移動技術及び傾斜地での移動技術について段階的に

## 2高群

# 首都防衛任務に基づく部隊の行動 方面隊訓練検閲を受閲

第2高射特科群は武力攻撃事態間における「首都防衛任務に基づく部隊の行動」を検閲課題とし、

2月26日から3月1日までの3夜4日にわたる一連の状況下で訓練検閲を受閲した。

これまで各中隊等は市街地等、首都圏の特性をふまえたレシリエンスの向上（強靱性・抗堪性・任務の継続）を重視して数回にわたる訓練を段階的に実施し練度を向上させ、本訓練検閲に臨んだ。



戦闘準備



作戦室の様子

訓練検閲においては群長要望事項である「疾風に勁草を知る」の下、全隊員は各人の任務をよく理解するとともに練成で培った高い技術・知識に基づく対空戦闘、陣内小移動を任務達成の執念をもって取り組み方面の作戦に寄与した。

2高群は引き続き、首都防衛に任ずる東部方面

訓練はウッターカン ド州チャウバティアにおいて、標高約2000級の地域で実施された。演習場は民間地域との明確な区分がなく、住民が入りやすい環境に当初は驚

隊の対空作戦専任部隊として、総監要望事項「二隅を照らせ」を具現化し、群長を核として、隊員一人一人が自らの立場で精一杯の努力を積み重ねて強靱な東部方面隊の創造に寄与できるよう、日々の訓練に邁進する。

## 訓練所感

第32普通科連隊 堀田 龍彦2等陸尉



ダルマガーディアンに参加して

いたが、地域との信頼関係の強さを実感した。訓練においても民間人への配慮や被害軽減が重視されており、その姿勢が信頼の基盤

自衛隊は近年、多くの国と共同訓練を実施しているが中でもインド陸軍は地政学的背景や建国の歴史を踏まえ、独自の軍隊文化を有している。我々自衛隊の文化や考え方は異なる場面も多く、強い印象を受けた。私は令和7年度のインド陸軍との実動訓練に小隊長として参加し、各種訓練や文化交流を通じて相互理解を深めるとともに、同志国との信頼醸成の重要性を実感した。

訓練はウッターカン ド州チャウバティアにおいて、標高約2000級の地域で実施された。演習場は民間地域との明確な区分がなく、住民が入りやすい環境に当初は驚

### 新潟地本

## 現役自衛官直伝 海自カレー調理実習&職場体験

自衛隊新潟地方協力本部は2月14日、海上自衛隊新潟基地分遣隊において調理実習と職場体験を支援した。今回のイベントは新潟市自衛隊家族会女性部の発案により自衛



海自カレーの調理実習



目測体験

隊をより身近に感じ理解や興味を深めて貰いたいという思いから企画されたもので、事前公募により調理実習10人、職場体験20人が参加した。調理実習では海上自衛隊員が普段食べている部隊秘伝のカレーのレシピを海自の給養員から直接教わった。まず野菜の皮むきから作業が始まり、参加者がカットまで終わると、給養員から玉ねぎやにんじんの皮や切れ端を水で洗うよう指示があった。湯が沸騰している鍋にふだん捨ててしまいがちな端材と鶏骨を入れ、うま味成分が含まれたスープが完成した。参加者は「これが海自カレーのおいしさの秘訣か」と感嘆していた。同時に体育館では職場体験として、歩測・目測、手旗信号、ロープ結索法や落とし物探し(目標識別)が行われた。歩測では、体育館1周約1000mを実際に歩いて何歩になるのか計測し、ロープ結索法ではほとけけない結び方など日常生活に活用できそうな内容が多数盛り込まれており、それぞれが体験をしながら楽しく学んでいた。課目が全て終了し、会場が全て終了し、会

### 神奈川地本

## 働くことの意味を伝える 中学生を対象に職業講話



講師の菅原1海曹

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所は2月19日、横浜田園ロイヤークラブからの依頼を受け、横浜市立青葉台中学校1年生を対象とした職業講話に講師を派遣した。この取り組みは、地域の企業や官公庁が、同クラブの依頼に基づき講師を派遣し、生徒に勤労の意義や職業観を伝えることで、将来について主体的に考える契機とすることを目的として実施されている。講話は市ヶ尾募集案内所の担当広報官である菅原1海曹が務め、自衛隊の任務や役割について説明するとともに、自身の経験を交えながら「働くことの意味」について講話を行った。また、あいつや時間を守るといった社会人としての基本的な姿勢の重要性にも触れ、中学生の今だからこそ大切にしたい心構えについて語った。講話後の質疑応答では、「自衛隊に入隊したきっかけ」「自衛隊の魅力や仕事のやりがい」「仕事を通じて身に付いたこと」「最も大変だったこと」など多くの質問が生徒から寄せられたほか、「自衛隊の制服や装備で一般的にはあまり知られていない

### 茨城地本

## 土浦地域事務所 アピアランス教室を開催

自衛隊茨城地方協力本部土浦地域事務所は3月6日、土浦地域事務所においてアピアランス教室を開催した。アピアランスとは「身だしなみ」を意味する言葉で、今回は入隊予定者を対象に、入隊後自衛官なら必須能力のアイロン

が多かった。しかし、各担当広報官による熱意溢れるレクチャーにより、苦戦していた対象者も点検時には100点満点の合格だった。参加者からは「入隊前に教えてもらって良かった」「困っている同期がいたら助けてあげたい」など、頼もしい声に邁進していく。

自衛隊静岡地方協力本部浜北募集案内所は3月16日、県立浜名高校で同校の1年生約320人を対象とした防災訓練を行った。まず所長がこれまでの災害派遣活動での経験を踏まえた防災講話を行い、事前準備の重要性や災害時の高校生

して行い、生徒たちは楽しみなながらも真剣に学んでいた。最後に湯で温めるだけで食べられる非常食の体験食を行った。チャイハンや手羽先など多種多様な種類があり、「ジュエリーでおいしい」と生徒たちにも好評だった。防災訓練終了後、参加した生徒からは「自衛隊が身近になった」「実践的で有意義な時間だった」との感想が聞かれた。浜北募集案内所は今後

### 栃木地本

## 複合施設でフェア 地域密着の募集広報

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所は2月19日・25日、栃木県真岡市複合交流拠点施設monacaにおいて栃木地本サテライトブース「トナリノ自衛隊 in monaca」を開催した。

フェアを開催した。monacaは図書館や子育て支援センターや地域交流センターを備えた複合施設で、フェア当日も多くの人が来場した。会場内では、災害派遣写真の展示、制服試着体験、組紐・缶バッジ作成、背のう体験などさまざまなコーナーが設けられた。来場者を楽しませている。背のうを背負った来場者からは「ちょっと重いけどこれくらいならいけそう?」と反応があり、これに装備品が追加されることを話すと「これ以上ですか!」と驚いていた。「自衛隊体験フェア」は、さまざまな体験や会話を通じて自衛隊の活動への理解を深める良い機会となった。また好評につき3月にも同施設での「第2弾」を計画している。

### ある! ある! 自衛隊



戦闘服のアイロンがけ



半長靴の靴磨き



搬送方法体験

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所は2月19日・25日、栃木県真岡市複合交流拠点施設monacaにおいて栃木地本サテライトブース「トナリノ自衛隊 in monaca」を開催した。会場内では、災害派遣写真の展示、制服試着体験、組紐・缶バッジ作成、背のう体験などさまざまな体験や会話を通じて自衛隊の活動への理解を深める良い機会となった。また好評につき3月にも同施設での「第2弾」を計画している。



背のう入り組み品を展示

真岡募集案内所は「今後も地域密着の募集広報を実施し、自衛隊の魅力を発信していく。」



### 「部隊に貢献できる隊員に」 第12施設隊 武田 優美 陸士長

今月のフェアレディーは、第12施設隊の武田士長です。武田士長は新潟県三条市出身の24歳で、令和6年9月に第12施設隊に配属となり、第2小隊の施設手として障害処理や障害構成、築城などの各種施設技術について、小隊

訓練や普通科連隊との協同訓練、FTC訓練等を通じて、日々、練度向上に励んでいます。Q 自衛隊に入隊したきっかけは？

子供の頃にテレビで見た自衛隊のドキュメンタリーがきっかけです。専門的な技術や器材を活用して国際的に活躍する姿に感動し、国内外問わず信頼される自衛官の一員になりたいと思い入隊を決めました。

Q 現在の職務に就いての感想は？

施設科の業務の幅広さと、一つ一つの作業が持つ責任の重さを実感しています。また経験を重ねる中で、状況に応じた判断や確かな動作の重要性を学ぶことができました。任務を更に深めてゆくことの大切さを、日々身に染みて感じています。

Q 今後の目標は？

施設隊で勤務する中で、隊員を間近でサポートする衛生救護の役割に惹かれるようになり、近いうちに准看護師になる課程の選抜試験を控えているので、まずは合格に向けて勉強し、将来的には現場を支える衛生救護の隊員として貢献したいと考えています。

Q 自衛隊に入隊したきっかけは？

自衛隊に入隊した大学時代に部活の先輩から自衛隊の魅力が伝えられ、興味を抱いて入隊しました。

Q これまで最も印象深い訓練は？

部隊格闘指導官養成訓練において一夜二日の連続で行われた総合訓練です。仲間と協同連携

Q 今後のチャレンジしたいことは？

部隊に対する格闘技術の普及はもちろんなのですが、施設機械操作の特技を取得し、油圧ショベルやバケットローダーなど施設職種特有の建設機械を扱い、活躍の幅を広げたいです。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

同期や先輩、友人と食事や買い物に行くことが多いです。最近では趣味を増やそうと思い、市の吹奏楽団に入るために楽器を買いました。

### 「不撓不屈」 第394施設中隊 江川 亘 3等陸曹



今月の東方男児は第5施設群第394施設中隊

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

令和6年8月1日より、第7代東部方面会計隊最先任上級曹長に上番しております渡邊准尉です。東部方面会計隊は方面隊唯一の会計機能を有する部隊であり、会計科の使命は「予算、経理、その他の会計活動に任じ、作戦目的達成のため各部隊を支援するにあり」です。具体的な任務

としてはおおまかに、各部隊の作戦基盤構築のため、資材購入や役務契約、隊員の士気に関わる給与等支給業務などの任務を遂行しています。自衛隊も国の機関であるため、予算の取り扱いについては財政法を始め各種法律等に基づいて業務を行っています（防衛法制にも劣らない、なかなか

複雑な体系です）。半年度決算のため、4/四半期及び4月は業務量が増大します。方面隊内21個駐屯地に所在する会計隊の隊員は、陸士に至るまで、毎年この負荷に耐えながら各部隊を支援して「感謝」と「敬意」を伝えた

多様な多様な会計支援を全うするためには、一刻一刻と変わっていく会計支援ニーズを理解し適時適切な方法で支援する必要があります。一昔前であれば、一部の古参陸曹の圧倒的な経験値による業務処理に期待を寄せてま

が、現在のようなVUCA環境（物事の不確実性が高く、将来の予想が困難な環境）では、過去の事例を踏襲した要領では限界を迎えつつあると思います。それ故に、人材育成は非常に重要です。基本教育における例題や事例を学ぶこと、現

場では仕事の型を覚えていくなど重要ですが、なぜか重要なことか？その意味・理由までを各人が踏み込み理解していくことによる業務の効率化は必須だと考えます。ここで重要になってくるのは、各人の自主性・自律性が必要だということ（そう、サービス指導の重視事項と同じです）。

私は「人は人の力で変えられる」とは、経験上も信念上も思っています。それは見かけ以上にすごいと思っています。人は「自ら変わる」でなければいけません。「馬を水飲

私は第1師団司令部付で勤務している田中3子2人、そして生まれたばかりの娘の6人で暮ら

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

## 最先任 上級曹長

### 「善導」「慎独」 東部方面会計隊 渡邊 英紀 准陸尉



Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

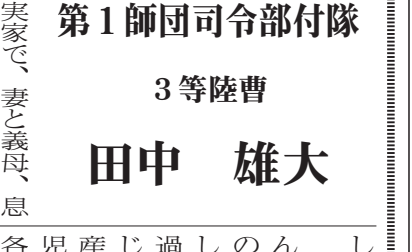
Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

### 「育児と感謝」 第1師団司令部付隊 3等陸曹 田中 雄大



Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。

#### 編集後記

思い起こせば15年ほど前、部隊における休暇前教育の一環として近隣の警察署に依頼した交通安全教育を受けたことがあります。その教育の最後に質疑応答があり、だれかの「自衛隊は取り締まれないのか」の質問に対し、警察の方が「自衛隊は青切符がなく、取り締まると赤切符でいきなり前科持ちになるため難しい」と回答されていたのが今でも覚えているくらい衝撃的でした。

Q 休日の過ごし方は？

主にプロレス観戦を楽しんでいます。普段はYouTubeなどを視聴する事が多いですが、時には試合会場へ行き、選手たちの活躍する姿から夢と元気を貰って活力にしています。